

ポンポコ新聞

[Ponpoko News]

第 71 号



=発行=

2019年8月25日

喜多見ポンポコ会議

<http://ponpoko.jp.org>

名木百選 に推薦しました

1986年度に選定された名木百選の樹木は、年月とともに変化してきたことから、世田谷区は新たな名木を選ぶことにしました。20年近いポンポコの活動から「喜多見を代表する樹木」と思う4件を推薦しました。

喜多見の特色

喜多見は崖線に沿って強風が吹くので、風除けのため屋敷の周囲に高垣をめぐらし、屋敷の内にも屋敷林や竹林を設けました。また、江戸氏ゆかりの地であり、歴史のある社寺や行事、昭和の気配が残っていることも大切にしたい特色です。

喜多見を代表する樹木

これから、喜多見を代表する樹木として選んだのが下記の4件です。それぞれの樹木が複数の要素をもっていることから、簡単な説明と『ポンポコ新聞』での関連する記事を書き添えました。内容は、喜多見図書室やポンポコのホームページでもご覧いただくことができます。

今後の予定

推薦された樹木は、世田谷区が全件調査し、抽出して詳細調査し、選定委員会で審査された後、来年四月頃に結果が公表される予定です。

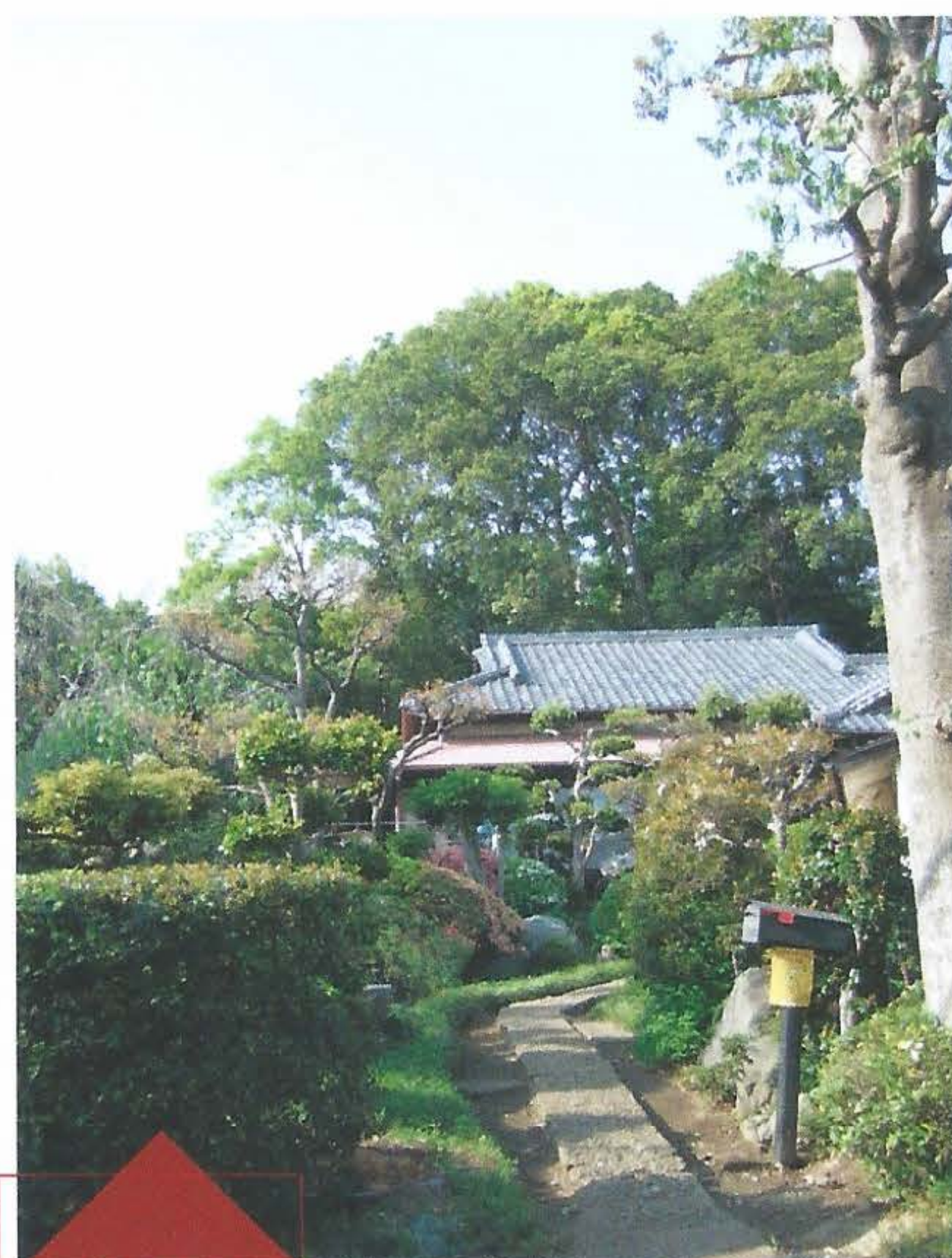


銀杏



イチョウ 木のすぐ下に「喜多見小学校発祥之地／禰善寺跡」の碑が立っており、かつては禰善寺(明治初年に廃仏毀釈で廃寺)があり、お堂は喜多見小学校の前身「研精学舎」として使われました。地域の歴史を見守り続けている大切な木です。

[記事] イチョウが保存樹木に(39)、禰善寺をさがせ!(51)
[所在] 喜多見四丁目13



白樺



屋敷林(ほとんどがシラカシ) 昔ながらの家屋とともにある屋敷林で、遠くからもよく見えます。木々の落ち葉は堆肥にして畑に漉き込んでいます。屋敷林の下には手掘りの室(むろ)があり、今も崖線の地形や屋敷林が活かされています。

[記事] 河野水軍(18)、愛媛と喜多見の縁(28)、河野さんの屋敷林(56)
[所在] 喜多見六丁目4



棕木



ムクノキ 須賀神社の社に子どもたちが集まりゲームをしている風景を時折見かけます。その子どもたちを見守るように立っている樹々のうちの1本が社前のムクノキです。毎年8月2日に湯花神事が行われ、その後の余興は昭和の雰囲気を楽しめます。

[記事] 湯花神事(14)、伝統行事(20)、江戸太郎重長(53)
[所在] 喜多見四丁目4



樺



ケヤキ並木 高垣の代表です。かつては江戸時代創業の造り酒屋、昭和37年からアーケード商店街があり、世田谷通りを挟んで時代を行き来するタイムトンネルのようでした。現在はこのケヤキ並木が唯一、その名残を留める存在となっています。

[記事] にごり屋さん(6)、カラスのクロ(8・23)、植栽(64)、牛山商店さん(69)
[所在] 喜多見七丁目25 ↑()は号数

やっぱり江戸氏につながった

諏訪神社と御嶽神社



奥が諏訪神社、右手前が御嶽神社

喜多見三丁目に、樹木に囲まれてひっそりとたたずむ神社があります。

諏訪神社は、室町時代、江戸氏が館の鬼門除けとして信州諏訪社を勧進したのが始まりで、後に、江戸氏の支族香取和泉忠興が同氏の館内にあった氏神香取神社を合祀し、明治7年頃に香取稲荷をも合祀して、現在は香取政雄さんが後を継いでおられます。子ども好きの神として知られ、子どもが麻疹にかかると軽くすむようにと願をかける習わしがあったそうです。(※)

境内の右手前にある小さな社は御嶽神社。香取さんは御嶽講の喜多見東部支部の講元で、毎年8月に武蔵御嶽神社へ行き御札をもらい、1月には武蔵御嶽神社から御師が来て1軒1軒回り拜んで行かれるそうです。ところで、武蔵御嶽神社の境内に畠山重忠の騎馬像が立っています。畠山氏は江戸氏と同族、源氏と平家の争いでも畠山重忠と江戸重長は行動を共にしています。

どちらも江戸氏につながりました。

※ 香取さんと同族の故・廣田一義さんの手書きメモから

みんなが幸せになれるように

tutti (トゥッティ)



狛江市岩戸北2-20-3、電話3488-6119

喜多見駅北口(交番側)から線路沿いに狛江方面へ2分ほど歩くと「何を食べても美味しい」と評判のイタリアンカフェがあります。店長の山本加代子さんにお話を伺いました。

西野川にある自宅を改装して2008年から始め、出産と子育てで1年休んだ後、2015年12月に今の場所で再開しました。正式な店名「la felicità di tutti (ラフェリチタディトゥッティ)」はイタリア語で「みんなの幸せ」という意味、みんなが幸せになれる空間をつくれたらいいなと付けました。看板メニューは人気商品を盛り合わせた「トゥッティプレート」、旬の素材を使ったパスタ、キッシュ、ミートローフ、パンやケーキ、夜はピッツア(専用窓口でテイクアウト可能)、すべて山本さんが作っています。予約すればメッセージ入りのバースデープレートも作ってくれるそうです。

常連さんが多いので飽きないように色々な店へ食べに行き刺激を受けつつ新メニューも考えているそうで、夢も元気もいっぱい山本さんでした。

投網に挑戦

野川ガサガサ



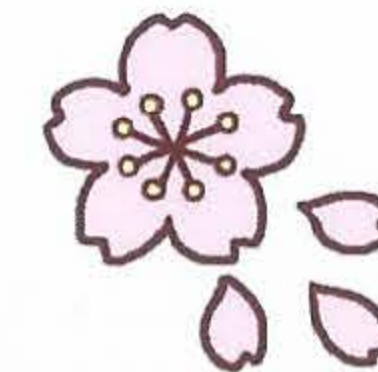
地元の方が40年前に使っていたという投網

4月21日(日)、春の野川ガサガサを行いました。『ポンポコ新聞』を見て参加された喜多見の方、ホームページを見て調布から参加された方、小学生の頃から参加し続け、高校で生物部員となった頼もしい常連さん。この日は皆苦戦する中、常連の高校生は大漁で計19種類274匹の収穫でした。

最後に、代々喜多見に住み、獲れた魚で育ったという方が持参された網を交替で打ってみましたが難しい!

夏の野川ガサガサは、当初予定していた7月28日は台風、延期した8月3日は猛暑のため中止しました。

オオシマザクラを移植



野川の神明橋上流にあるオオシマザクラ、昨年6月に野川多自然連絡会(ポンポコ・野川の会・ハケ森・鳥ボラと個人で構成)主催で取り木した一部(発根した枝)を7月5日、トラストビクターセンター横の野川緑地広場に移植しました。無事、根付きますように。

続々と開園します

喜多見農業公園

3年前、喜多見四丁目の稲荷塚古墳と慶元寺の間に「喜多見農業公園」が開園しました。残された貴重な農地、農業を次世代に伝えていけるように、農業体験やイベントも開催しています。この「本園」に続き、今年秋には須賀神社の隣で「天神森の畑」が暫定的に開園し、来年春には水道道路の近くに「陣屋の畑」が開園する予定です。

INFORMATION

秋の野川ガサガサ

【日時】 9月29日(日)

ごみ拾い 10:00~10:30
生きもの調査 10:30~12:00

【持物】 川用の靴、あれば玉網・バケツ

【集合】 次大夫堀公園築山横の野川階段

【申込】 喜多見児童館 tel. 3417-9151

※ 天候不良の場合は10月6日(日)に延期します。

緑を増やそう!
みどりの物々交換会

ご家庭で増えて困っている・余っている植物をお持ちください。欲しい方に無料で差し上げます。

【日時】 11月3日(祝) 9:30~11:30

【場所】 区民まつり会場(喜多見小学校校庭の啓発コーナー)

【募集】 植物の苗や種、観葉植物もOK

※ 持ち寄り受付は10時まで。植物の名前を書き添え、持ち帰りやすい形状でお持ちください。